

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2 ~ 3 平成24年度施政方針
- P 4 ~ 5 むらの話題
- P 6 田検中学校の職場体験
- P 7 ~ 18 宇検村議会だより
- P 19 オリジナル曲(阿室小中)
- P 20 ~ 21 お知らせ
- P 22 ~ 23 平成24年度当初予算
- P 24 村民のうごき



「うけん村議会だより」合併号

第40回大島支部消防操法大会ポンプ車の部で優勝に輝いた宇検村消防団芦検・名柄分団のみなさん
【※詳細につきましては、次号へ掲載します。】

村民の融和を図りつつ、 全員参加の村づくりを目指す！

毎年、第一回目の村議会定例会で村長が表明する施政方針は、その年度における施策の方向性を示すものです。

今回、その施政方針の内容につきまして掲載いたします。（※誌面の都合上一部抜粋）

平成24年度 施政方針



宇検村長
元田 信有

はじめに

我が国においては、昨年三月十一日の東日本大震災の影響や世界経済の減速、戦後最高水準の円高などにより、日本経済の先行きは極めて不透明な状況の中にあつて、行政を運営していくことは極めて厳しいものがあります。村政の主人公は村民であるとの認識の下、村民の皆様と共に、より住みよい村づくりに向け、誠実に村長としての責務を果たして参る所存です。

平成二十四年度は、第五次宇検村総合振興計画の策定年度であります。十年後の宇検村としての将来像を描くこととなりますので、村民一人一人の意見を拝聴しながら、職員の英知を結集し、村民が生きがいを持って安心して暮らせるための施策を構築していく所存であります。

行財政改革

本村は平成十八年度から平成二十二年度まで行財政改革を進め、事務事業、組織機構、定員管理等を見直してきました。

これに伴い、職員の定員管理については、平成二十二年度までに目標数値に達している状況であります。今後も財政健全化はもとより、地方分権の推進や社会経済の変動に対応できる自治体として、行財政改革の継続は必要不可欠であり、着実に推進してまいります。

整備事業

県道については、現在継続中の生勝工区と名柄く佐念工区、また平成二十四年度から着工する平田くタエン工区の促進と重要幹線である湯湾新村線の大畑工区が平成二十四年度で完了す

るため、現計画終点から八津野間の改築事業を要望してまいります。

住宅については、川田団地の整備が終了し、今年度は、村営住宅の長寿命化計画策定のための調査を行います。小規模住宅は、名柄地区に二戸計画しております。

県営急傾斜地崩壊対策事業で石良地区と名柄地区を整備します。村営の県営急傾斜地崩壊対策事業で芦検地区の危険箇所を整備します。砂防事業では、県営事業で美長良地区と久志地区を整備します。

農業振興

平成二十三年度から進めています。奄美大島選果場が奄美市小湊地区に今年度完成し、二十五年産果樹から供用開始になります。これにより、奄美大島の果樹の品質が統一され、販路拡

大と農家の所得向上に期待しているところです。

本年度においても、県営中山間事業で屋鈍地区の集落排水路整備、県営農地環境整備事業で石良地区と阿室地区の農業用水整備、鳥獣被害防止対策事業で阿室・部連・湯湾地区のいのしし防護策を整備します。

さとうきびの生産拡大策としてトン当たり一万円の生産奨励金、ハーベスターの使用料の半額補助等を行い、黒糖焼酎の原料供給を行いながら、宇検村ブランドの開発を進めます。

また、集落で生産した農産物やそれを使った加工品の開発をしていただき「うけん市場」で販売し、誰でもできる簡単な農作業において換金作物として位置づけを行い、遊休地や荒廃地の解消も併せた、高齢者の生きがいを目指してまいります。



林業振興

本村ではチップ工場から排出されるパークの有効利用を図り、農家への安定した堆肥の提供を目指します。

松喰い虫被害拡大により県としては、北大島地区を中心に進入被害防止をするということ、松喰い虫防除事業は終了しましたが、枯損木対策、樹主転換事業、樹幹注入事業は継続して進めてまいります。

林道整備につきましては、湯湾赤土線の舗装、新小勝線の開設、また今年度から新たに佐念線の開設工事を県営事業で行います。また、阿室線の舗装を新規に村営事業で行います。

水産振興

焼内湾においては、マグロ・クルマエビ・真珠等の養殖が盛んに行われており、本村の経済に及ぼす影響

は多大であるので、企業との信頼関係を構築しながら、生産の向上に努めてまいります。

しかしながら、地元漁家経営は依然として資本金等が乏しく、高齢化等により、大変厳しい状況であります。

既存施設を有効利用していただき、本年度も離島漁業再生支援事業を導入し、漁家所得の向上に努めてまいります。

観光・商工業

観光の開発については、湯湾岳公園、峰田山公園、赤土山展望台、各ミニポケット公園、海水浴場の整備を進めて来ました。本年度は屋鈍地区・タエン浜地区にそれぞれ東屋と駐車場等を整備します。

一方、活性化センター「結いの館」の施設や「開運の郷」を利用し、焼酎工場や黒糖工場の見学・野球場周辺に

整備したグランドゴルフ場の利用等、観光客の増も見込まれ、レストラン、既存の旅館や宿泊施設等と連携

しながら、都会の方々自然や農作業体験を行っていただき、中長期滞在型につなげていくような施策を講じてまいります。

次に商工業対策につきましては、商工会と連携して経営の体質改善や経営の合理化近代化を促進し、流通ルートの確立、経営基盤の強化を図る必要があると思われま

医療・保健福祉

介護保険事業については、地域包括支援センターによる更なる情報の集約を図り、一次及び二次予防教室等を行い、介護予防等の充実に取り組んでまいります。

保健事業については、食生活改善推進員の育成を図ると共に、食に対する意識

向上を高め健康づくりの推進に努めてまいります。

児童福祉については、児童の健全育成を推進するため、施設整備・職員研修等を進めてまいります。なお、関連して出産祝い金・入学・修学補助事業も実施してまいります。

次に、飼い猫の適正飼養及び管理についてですが、動物愛護の意識を高めるとともに、環境衛生の向上や自然環境及び生態系の保全を図るために、適正飼養について啓発してまいります。

消防・防災

各地で豪雨・地震・津波等が度々発生しておりますが、それらの災害にいち早く対応するために、各集落に組織されている自主防災組織での避難訓練等の実施や、各消防分団の施設の整備点検や、災害・避難情報

配信システムによる緊急情

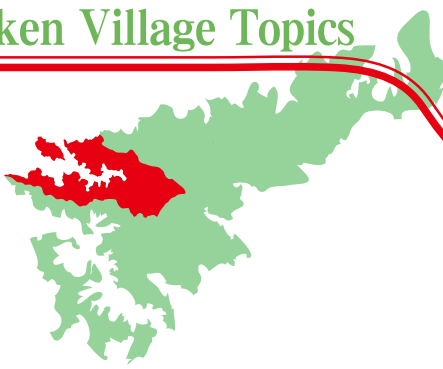
報の受信可能な携帯電話の助成も、引き続き実施するとともに、津波対策として、

村内の避難場所や公民館等に海抜表示板を設置して、村民が安全で安心して暮らせる環境づくりを行います。

教育行政

昨年度から小学校においては新学習指導要領が完全実施となり、また、中学校においては、移行措置を経て本年度から完全実施となります。今後も社会の変化に対応しうる、人間力を育んでいくことを目指した教育が大切だと考えております。

そのために、生涯学習の観点に立って、主体性、創造性、国際性を備えて、情報化、国際化に順応できる人間性豊かで、たくましく生きる村民の育成を掲げて、本村教育の充実発展を培ってまいります。



わ き や し ま し ゅ ん わ だ い
宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



見事に九州大会を制した田検中男子バレー部

田検中男子バレーが九州制覇

～第29回アシックスカップ九州中学バレー～

3月28日、29日に福岡県の福岡市民体育館において、第29回アシックスカップ九州中学校バレーボール選抜優勝大会が開催されました。

大会へは、1月に行われた各県の新人戦で決勝へ進出した上位2チームなど計20チームが出場し、トーナメント形式で熱戦を繰り広げました。

同大会へ出場した田検中男子バレーボール部が、予選から決勝までの全5試合をストレートで勝利し、見事に鹿児島県勢として初の優勝に輝きました。

4月2日に役場へ優勝報告に訪れた選手の皆さんは「初戦は動きも硬かったが、試合を重ねるごとに本来の粘りあるバレーをすることが出来ました。」と大会を振り返り、主将の柳俊輔くん（田検中3年）は「九州大会では強豪校ばかりで、全試合とも本当に苦戦しました。今年も全国大会の舞台を目指して、全員で力を合わせて頑張ります。」と話してくれました。



児童生徒数が増加した阿室小中学校

阿室校区「優良」団体に選定

～農水省「食と地域の『絆』づくり～」

農林水産省の2011年度「食と地域の『絆』づくり」事業の優良団体に、阿室校区活性化対策委員会（吉永常明 会長）が選ばれ、4月10日に内閣総理大臣官邸で行われた選定証授与式へ吉永会長が出席

し、鹿野道彦農水相から選定証が授与されました。

この事業は、農山漁村の活力を再生するため、創意工夫にあふれた地域活性化の先駆的事例を選定し全国に向けて発信するもので、選定されたのは全国で24団体、鹿児島県からは同委員会だけが選ばれました。

同委員会は、阿室小中学校の存続のため、行政と連携して「親子山村留学制度」を導入し児童生徒を増やした取り組みが評価され、優良団体として選定されました。同委員会発足時に6名だった児童生徒数は、現在、22名まで増えています。



選定証を手にする吉永 常明 会長



大量に捕獲されたテラダ

サザエ・テラダ乱獲防止を！

～ 宇検村漁業協同組合が呼びかけ～

宇検村漁業協同組合（渡立組合長）は、3月頃から村内でサザエやテラダ類などの海産物を大量に捕獲している事例が発生しているとして、村内外の一般住民に対し乱獲防止を呼びかけています。

本来、漁業者ではない一般の方がサザエやテラダ類などの海産物を捕獲することは、漁業権を侵害する行為として禁止されていますが、宇検村漁協は村民の方が各家庭で食べる程度の捕獲については、認めています。しかし、村内外の一般住民の中には趣味の範囲を超えて海産物を大量に捕獲する方もおり、漁民の生活を脅かす事態にあることと、水産資源の減少が懸念されているそうです。

同漁協では漁業及び水産資源に関する知識と理解を広めるとともに、監視活動の強化を実施して、乱獲防止を呼びかけています。村民の皆さまのご理解、ご協力をお願い致します。



宇検村漁協による監視活動のようす



各集落に設置された観光案内板

村内の十四集落へ縦一・五路、横二・五路の観光案内板が設置されました。案内板は、県の補助を受けて1100万円で設置したもので、村全体の観光名所の案内と、各集落の遺跡や史跡などの見所を地図と写真入りで紹介しています。

本村の「地元学」の受講生や教育委員会が、奄美群島文化財保護対策連絡協議会の中山清美会長をアドバイザーに、各集落の文化遺産などを調査し制作された大変貴重な案内板となっております。

村内全集落に観光案内板 文化財と名所を案内

平成24年度行政懇談会を開催

～ 村民の方から多くのご意見や要望～

5月11日午後6時30分から宇検村元気の出る館大ホールにおいて、「平成24年度宇検村行政懇談会」が開催されました。この会は、村行政の取り組みについて村民の方々へ直接説明するとともに、村民の方々から色々のご意見をお伺いする場として開催されたもので、当日は村民や村議会議員、役場職員が約250名出席しました。

元気の出る館大ホールであった行政懇談会のようす

会では、総務企画課の担当者が、宇検村雇用創造促進事業にかかる国庫補助金返還に関する経緯についての説明を行ったほか、村民から同事業の運営方法に対する指摘や副村長の早期任命、行政・議会運営のあり方などについて多くのご意見や要望が出されました。

元田村長は「行政のあり方について、村民の皆さまに厳しい意見を頂きました。皆さまのご意見を真摯に受け止め、住民目線に立った行政運営をより一層心がけ、行政、議会とともに村の発展に繋がるよう全力で取り組んでいきます。」などと答えました。

田検中学校3年生職場体験学習

～ 役場広報係で職場体験を実施した田検中3年生の二人が広報の取材と記事の制作を体験 ～

■国場自動車（記事・小林 登生）

5月23日（水）国場自動車で職場体験をしている重 充輝^{しげ あつき}くん取材をしてきました。

充輝くんは、社員の人に教えてもらいながら一生懸命車の整備を行っていました。

「なぜ、この仕事を選んだのですか？」という質問に対して、「車に興味があるから。」と答えてくれました。本人は、「ここに来て良かった。」と言っていました。

■エフエムうけん（記事・竹下 裕也）

5月23日（水）に、エフエムうけん^{やなぎ}で職場体験をしている、柳 俊輔^{しゅんすけ}くん、奥 巴香^{おく ともか}さん取材にいきました。

すると二人は、役場の行政情報の作成や、20分間の番組を自分たちで作る仕事をしていました。

「ラジオの収録をしてみても緊張しましたか？」という質問に対して、「かなり緊張しました。」と答えてくれました。僕は、ラジオ番組で聞く人に伝わるように、はっきりゆっくり喋ることはとても難しいことだと知ることができました。



▲ 国場自動車で洗車の体験をする重くん



田検小での防災訓練のようす



エフエムうけん打合せのようす



▲ 5月22日に滝の園の畑であった田検保育所のトマト収穫体験のようす



消防宇検分駐所で職場体験中の柳 泰雅くん



田検小での消火訓練のようす

※写真①②③・小林くん撮影、写真④⑤⑥・竹下くん撮影

編集後記

村の広報係の職場を体験して

三日間を通して取材やラジオ収録などたくさん体験をすることができました。取材をする前は、まず、どんなことを質問しようか迷いましたが、相手に伝わりやすい質問にして、他の職場に行っている同級生たちに取材をしました。

写真を撮るときの角度やピントを合わせるのが、とても難しく大変でした。

今回の職場体験では、役場の総務企画課にきて、とても良い経験になりました。

職場体験で学んだことを活かして、これからの自分の将来に役立てたいです。

田検中学校三年

こばやし とおい
小林 登生



たけした ゆうや
竹下 裕也

こばやし とおい
小林 登生
たけした ゆうや
竹下 裕也